

The image shows the exterior of a Daily Yamazaki convenience store. The building has a prominent red and yellow striped awning. A large yellow sign with the word "Daily" in a stylized font and "YAMAZAKI" underneath is positioned in the upper left. A man in a dark suit and a brown briefcase is walking past the store on the left. In the foreground, there are three white recycling bins with the "Daily" logo. To the right, a yellow vertical banner reads "たばこ" (tobacco) and a red cylindrical sign features the "Daily YAMAZAKI" logo. A sign above the entrance says "パスタフェア" (Pasta Fair).

Daily
YAMAZAKI

○ F C モバイルの導入について

株式会社デイリーヤマザキ



会社概要

株式会社デイリーヤマザキ

設 立	昭和52年12月21日
資本金	1億6000万円
株 主	山崎製パン株式会社(100%)
本店所在地	〒101-8585 東京都千代田区岩本町三丁目10番1号
本部所在地	〒272-8530 千葉県市川市市川一丁目9番2号 サンプラザ35ビル TEL. 047-323-0001
事業内容	コンビニエンス・ストア「デイリーヤマザキ」の フランチャイズチェーン展開 コンビニエンス・ストア「ヤマザキデイリーストアー」の フランチャイズチェーン展開
従業員数	751名(平成19年末)
チェーン全店 売上高	2,151億円(平成19年12月期)
店舗数	1,622店(平成19年末)

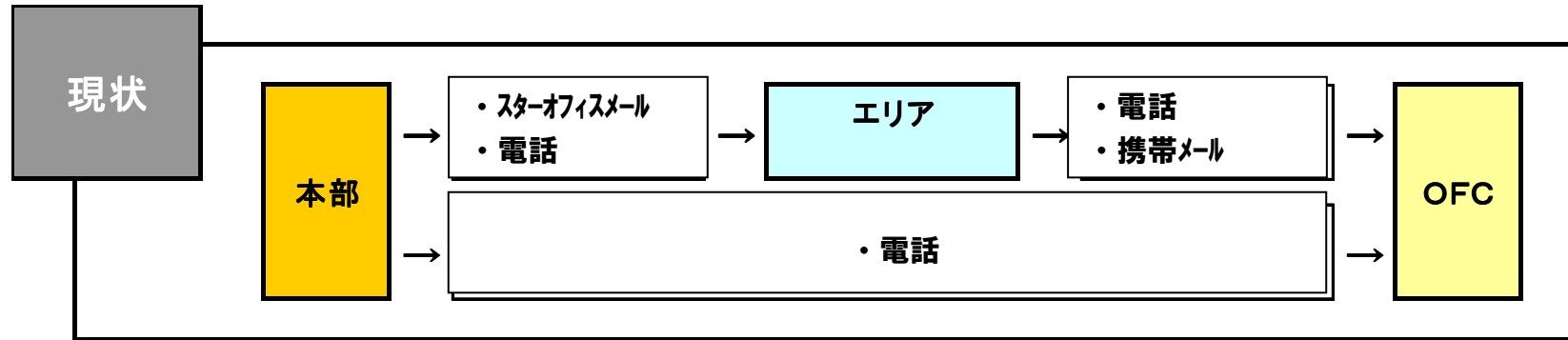
デイリーヤマザキでは2008年8月から、従来紙ベースで管理していた全国のOFC（店舗経営相談員）の店舗指導業務への新たな支援ツールとして、WindowsMobileスマートフォン端末を利用した業務支援システムを導入いたしました。

これにより、これまで使われ難かった店舗巡回や経営相談などのデータを電子化、数値化し、全社的なマネジメントに生かすとともに、データ収集や情報配信のスピードアップを図ることに活用しています。

現在STEP1として、モバイルを利用したOFC業務の定着化および定型化、標準化を目的とした運用を実施しています。

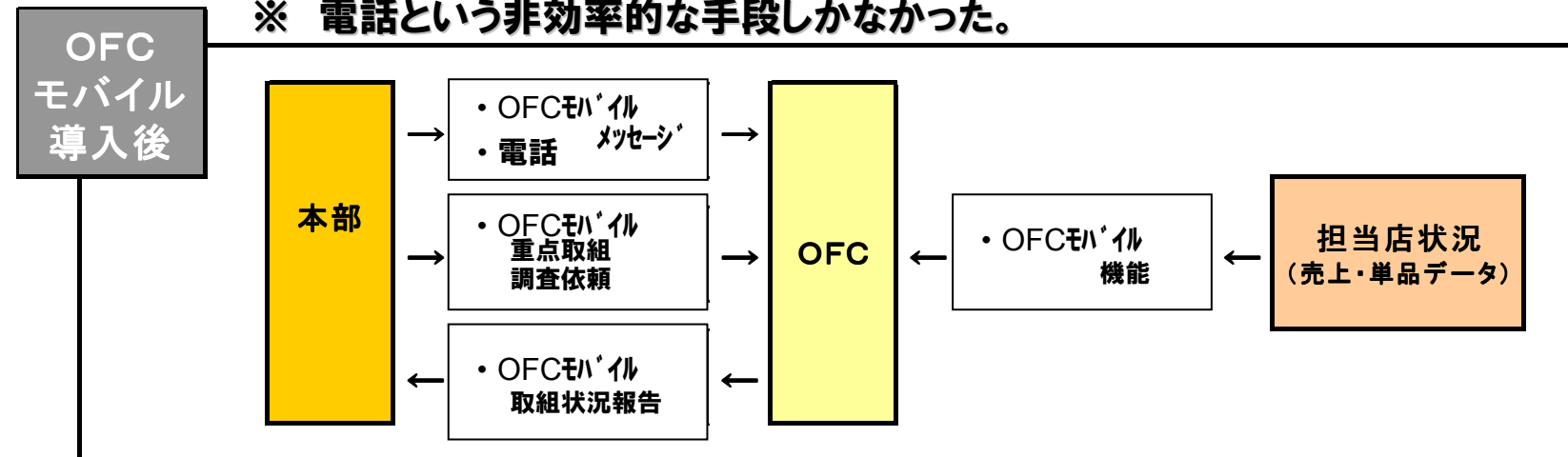
導入の背景

本部とOFC間の情報伝達の「スピードアップ」と「双方向化」を図る



※ 本部からの情報がOFCに届くまでに時間がかかる。

※ 電話という非効率的な手段しかなかった。

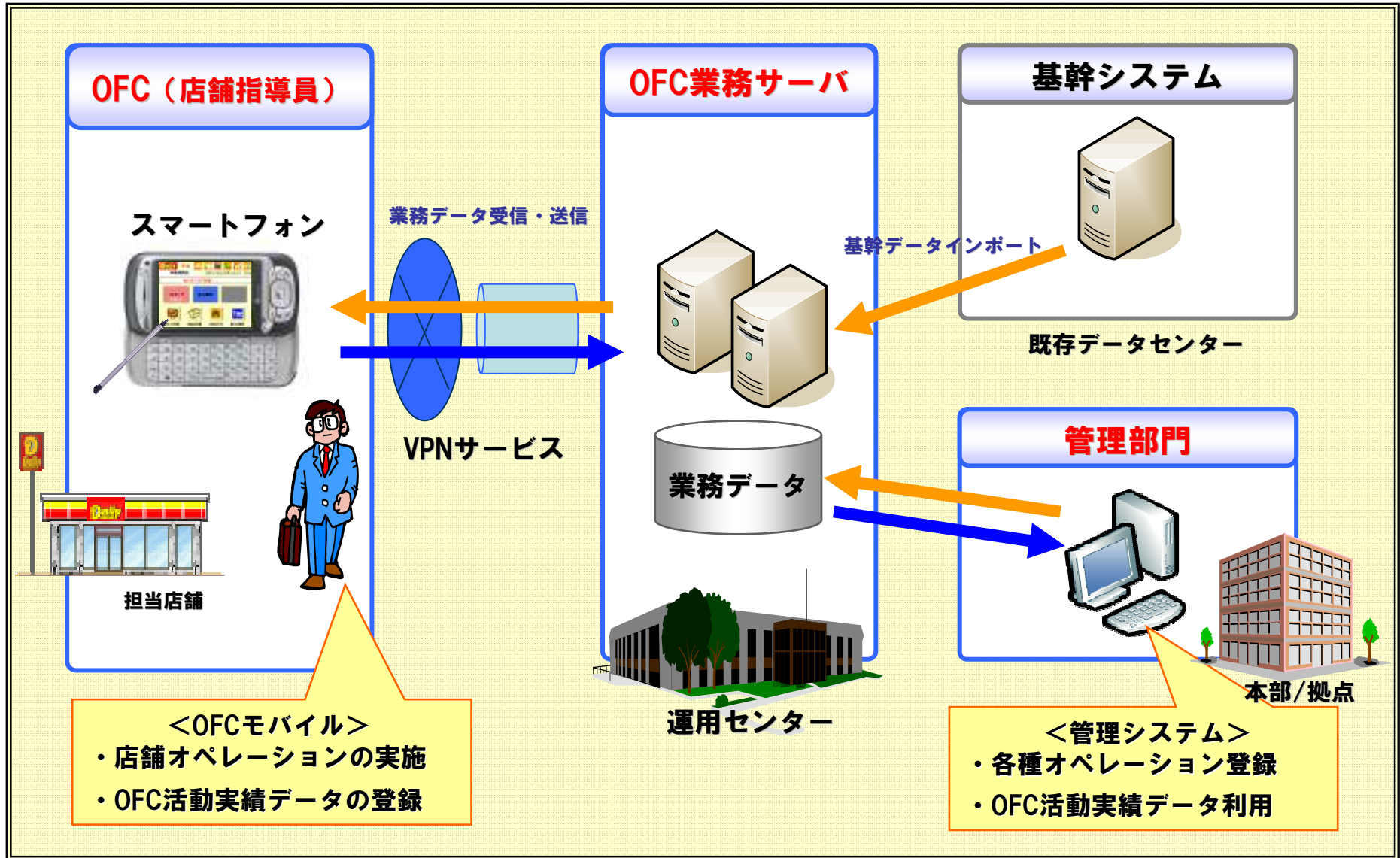


※ 情報の伝達速度が速まり、効率的に行える。

※ OFCから店舗の取組状況報告を即時に収集できる。

※ OFCは担当店の情報(売上・単品データ)を、店やエリアに行かずに確認できる。

Daily YAMAZAKI システム構成



Daily YAMAZAKI メニュー概要

店舗オペレーションに必要な複数の機能(メニュー)を一つのアプリケーションで実現!

<基本実施 項目メニュー>

①TOPメニュー

今日、すべきことを
わかりやすく表示

②メッセージ

本部からの伝達事項
の内容確認

③売場確認

売場の
チェック・撮影

④売上情報

店舗毎の日別・累計
売上等を表示

⑤商品情報

商品情報を
画像と共に表示

⑥スケジュール

活動予定の整理と
活動結果の確認

⑦周辺調査

近隣の情報を
簡単入力・送信

⑧メール・連絡先

通常やり取りする連絡先
(サーバー同期共有)

⑨HELP

各種マニュアル類等
の確認・共有



OFCに必要な多くの機能を整理、「見やすく」「入力しやすい」綺麗な画面表示となっています。

【業務の効率化】

①チェーン全体戦略(重点商品展開、重点キャンペーン施策等)の店舗対応率の向上

数値：店舗の重点商品群の発注率 **30%UP** (60% ⇒ 90%)

②店舗毎の本部指示による陳列レイアウトの実施状況の収集期間の短縮

数値：報告・集計作業期間 **5営業日短縮** (7日 ⇒ 1~2日)

【コスト削減効果】**① 通信費の削減**

これまでOFCの業務確認・連絡手段はすべて通話であった為、通話料金が高額となっていたが、情報の確認、緊急連絡等がシステム上で対応が行える環境となった為、通話の比率が減少したことにより(データ通信の費用はデータ圧縮効果により低減化) 全体的な通信コストの削減が実現できた。

② 紙コストの削減

店舗毎の売上データや膨大な商品情報及び報告等の作成業務が紙ベースからシステムで対応されたことにより、OFCに装備されていた紙資料の大幅なペーパーレス化が図れた。